

アフリカ農業・食料事情 現状と課題

2017年10月30日 15:00～17:20

農林水産政策研究所

セミナー室

スケジュール

1. 導入

15:00~15:05 農林水産政策研究所・佐藤速水所長挨拶

15:05~15:15 解題（農林水産政策研究所 伊藤紀子）

2. 講演（逐次通訳）

15:15~15:45 “Situation and Challenges of Food Production Policy in Kenya: Supply, Demand and Import of Rice” (Wanjogu, Raphael Kinyanjui)

15:45~16:15 “Transformation in Mwea Rice Sector” (Mwangi, Moses Kareithi)

3. コメント・質疑応答

16:15~16:40 Wanjoguへのコメント（石井洋子・聖心女子大学）

16:40~16:55 Mwangiへのコメント（古家淳・JIRCAS）

16:55~17:20 質疑応答

セミナーの目的

背景

- 日本とアフリカの政治・経済関係の強化
- アフリカの食料輸入増加による日本の食料安全への懸念

ねらい

- アフリカ農業の現状の把握
- アフリカ食料増産（輸入削減）へ向けた取組・日本の協力と課題を検討



「アフリカ」

アフリカ大陸の国々

↓
「サハラ以南
アフリカ」

サハラ砂漠より南の国々（北部と文化・民族的違いが大きい）

（出所） グーグル・マップ

農林水産政策研究所における アフリカ農業・農政に関する研究

- ・ **カントリーレポート**：海外の主要国の政治，経済，農業，農政動向を毎年報告。さらに特定のテーマを取り上げ，より深く分析。

近年の報告書（政策研のwebサイトで利用可能）

カントリーレポート：アフリカ関連（2013年、2014年、2016年）

● 食料需給見通し

食料輸入国日本の食料供給を、
アフリカを含む世界の食料需給見通し
と関連させて分析

プロジェクト研究 [主要国農業戦略] 研究資料

- ◆ [第13号 平成27年度カントリーレポート：米国，フランス，韓国，GMO（米国，EU）（2016.3）](#)
- ◆ [第12号 平成27年度カントリーレポート：タイ，ベトナム，ミャンマー，オーストラリア，ロシア，ブラジル（2016.3）](#)
- ◆ [第11号 平成27年度カントリーレポート：中国，インド，インドネシア，中南米，アフリカ（2016.3）](#)
- ◆ [第10号 平成27年度カントリーレポート：EU（CAP改革，フランス，スコットランド，デンマーク，フィンランド，酪農）（2016.3）](#)
- ◆ [第9号 平成27年度カントリーレポート：総括編，食料需給分析編（2016.3）](#)
- ◆ [第8号 平成26年度カントリーレポート：米国農業法，ブラジル，韓国，欧州酪農（2015.3）](#)
- ◆ [第7号 平成26年度カントリーレポート：インド，アルゼンチン，ベトナム，インドネシア（2015.3）](#)
- ◆ [第6号 平成26年度カントリーレポート：EU（フランス，デンマーク）（2015.3）](#)
- ◆ [第5号 平成26年度カントリーレポート：米国，WTO，ロシア（2015.3）](#)
- ◆ [第4号 平成26年度カントリーレポート：タイ，オーストラリア，中国（2015.3）](#)
- ◆ [第3号 平成25年度カントリーレポート：アメリカ，韓国，ベトナム，アフリカ（2014.3）](#)

解題：日本とアフリカのパートナーシップ

(1) 政治

(2) 経済

(3) 農業・食料

解題：日本とアフリカのパートナーシップ

(1) 政治

(2) 経済

(3) 農業・食料

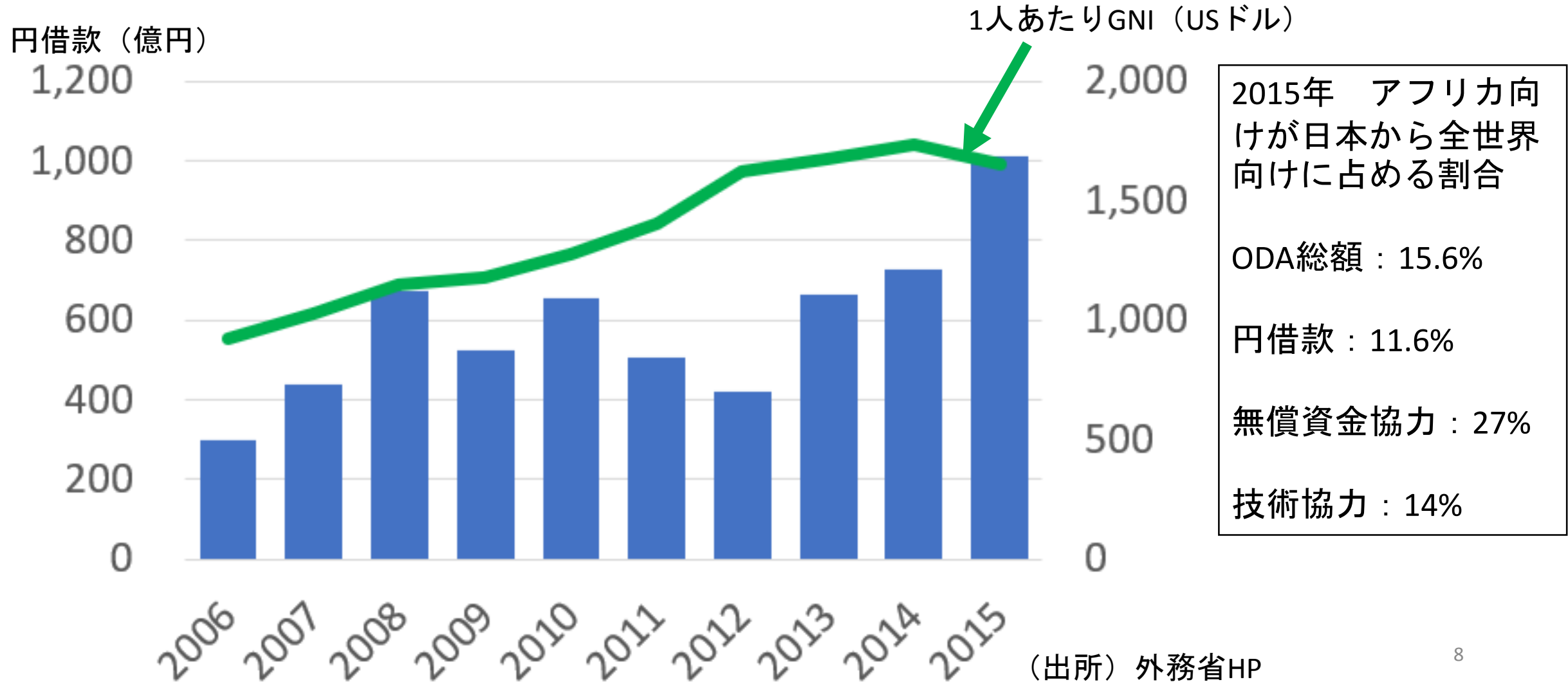
日本政府の動向

- 2013年6月 TICAD(Tokyo International Conference on African Development) 5 @横浜
 - 5年間で約3兆2000億円の支援
 - 農業をアフリカ開発の重点分野と位置付け
 - 安倍総理大臣「できる限り早く、アフリカの地を踏む」
- 2014年1月 アフリカ連合(AU)訪問@エチオピア
 - 「『一人、ひとり』を強くする日本のアフリカ外交」スピーチ
- 2016年8月 TICAD 6 @ケニア
 - 約1万1,000人の民間セクター・NGO代表,77の団体の参加
 - 「ナイロビ宣言」 (*ナイロビはケニアの首都)
 - 3年間で官民総額約3兆円の投資・1,000万人の人材育成
 - 「日アフリカ官民経済フォーラム」設立を宣言
 - 日本の閣僚や経済団体、企業のトップが3年に1回、アフリカを訪れ、投資環境改善などを協議



日本の政府開発援助（ODA）

アフリカの経済成長に伴い、無償協力だけでなく円借款が増加



解題：日本とアフリカのパートナーシップ

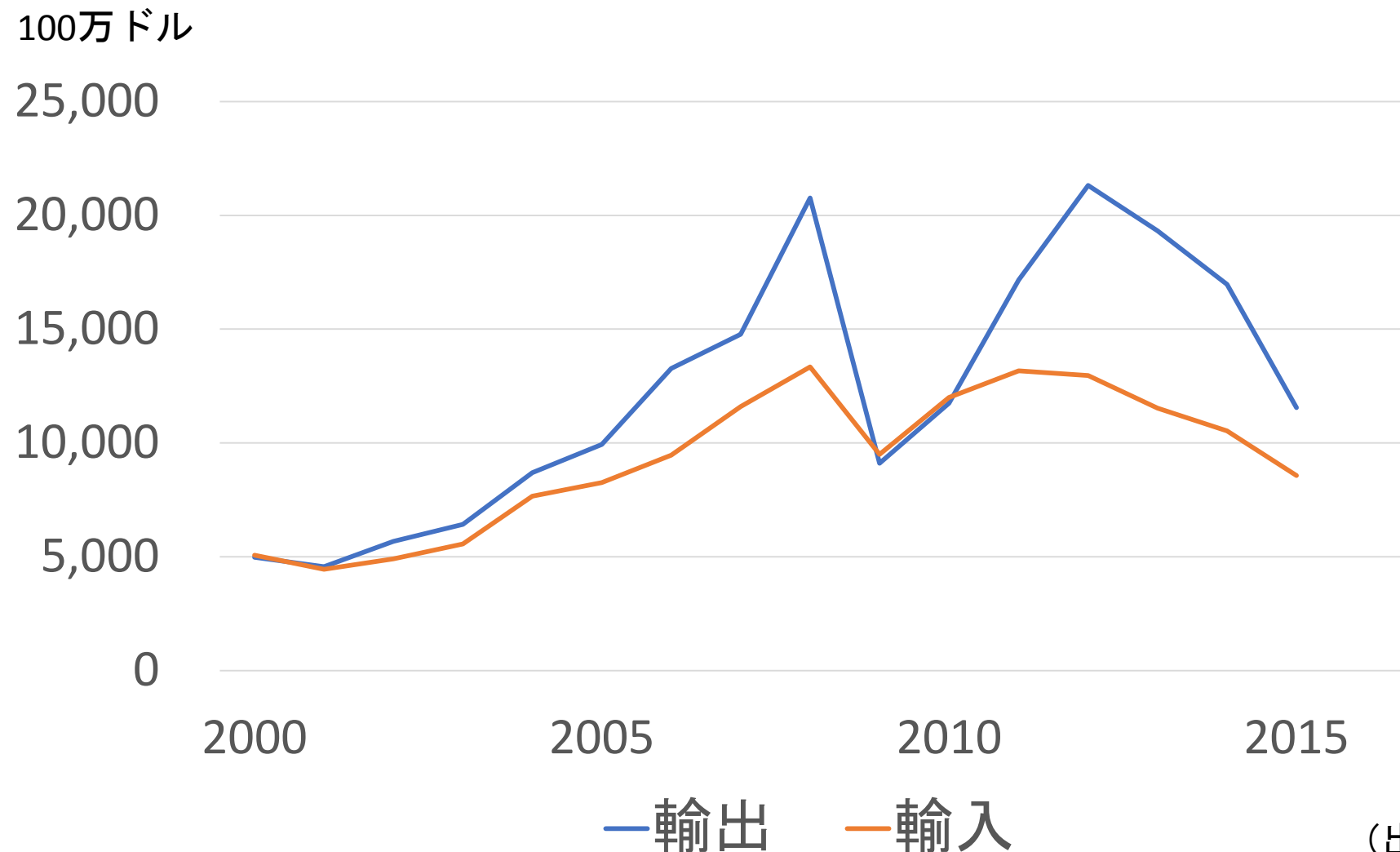
(1) 政治

(2) 経済

(3) 農業・食料

日本の対アフリカ貿易額

波はあるものの、年々増加傾向にある



主な品目
(世界向け輸出入金額に占める割合)

自動車・機械
(対アフリカ輸出1.3%)

→

日本 アフリカ

←

石油・白銀・天然ガス
(対アフリカ輸入1.8%)

日本の対アフリカ民間直接投資額 (ネット, フロー)

100万ドル
2,000

1,500

1,000

500

0

2000

2005

2010

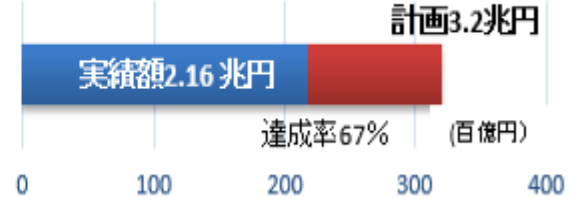
2015

△ 500

△ 1,000

▶ TICADVでは2017年までに3.2兆円の支援パッケージを発表。うち2.16兆円が実行済。

【図表11】 公約の進捗状況



日本の対アフリカ民間直接投資額は、全世界向け直接投資額の1.0%と低水準(2015年)

アフリカで活躍する日本企業

➤ 豊田通商

自動車販売・企業アライアンス

➤ JT

エチオピア, スーダンのたばこ会社の買収

➤ 味の素：BOPアミノ酸ビジネス

ガーナの乳幼児栄養改善に向けたソーシャルビジネス

➤ コマツ：鉱山機械

➤ YKK：ファスナー製品

➤ 日立：電カインフラ、環境ビジネス



(https://www.jbic.go.jp/wp-content/uploads/topics_ja/2013/07/2408/IDE-Seminar-presentation_JP.pdf, 豊田通商, JTHP)

解題：日本とアフリカのパートナーシップ

(1) 政治

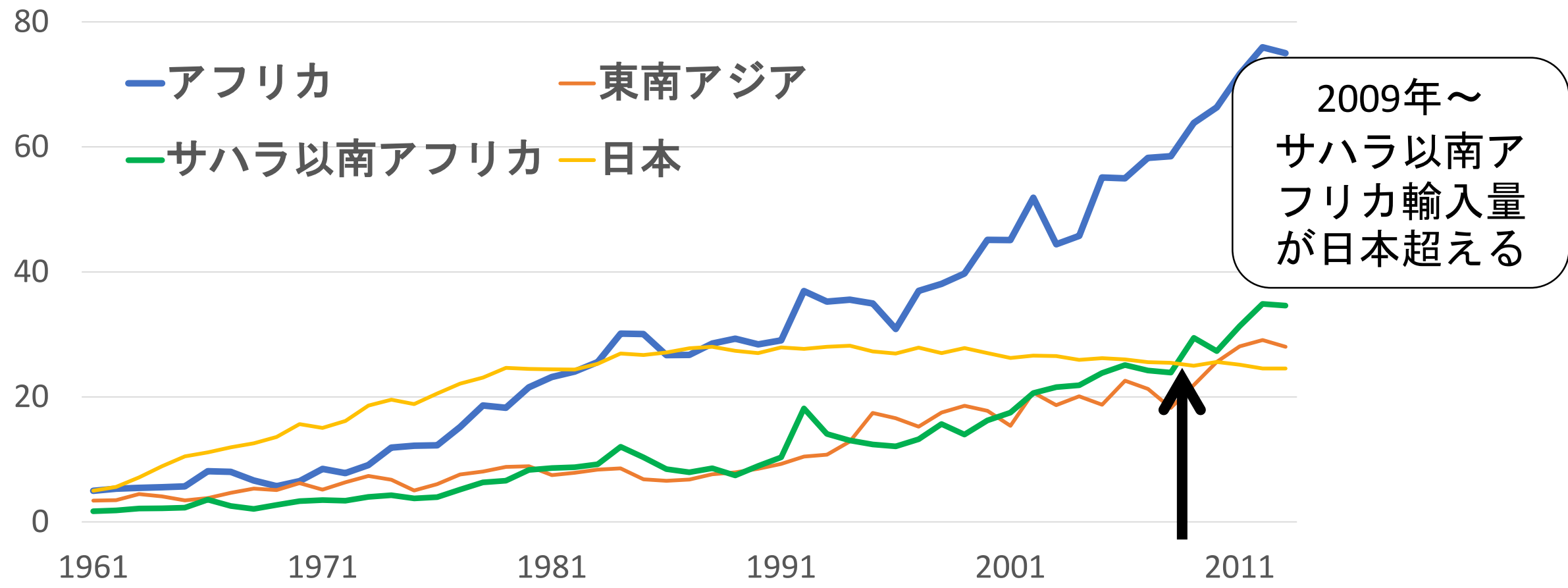
(2) 経済

(3) 農業・食料

背景：アフリカの食料問題(1/2)

アフリカの穀物輸入量は年々増加傾向

(100万トン)



2009年～
サハラ以南ア
フリカ輸入量
が日本超える

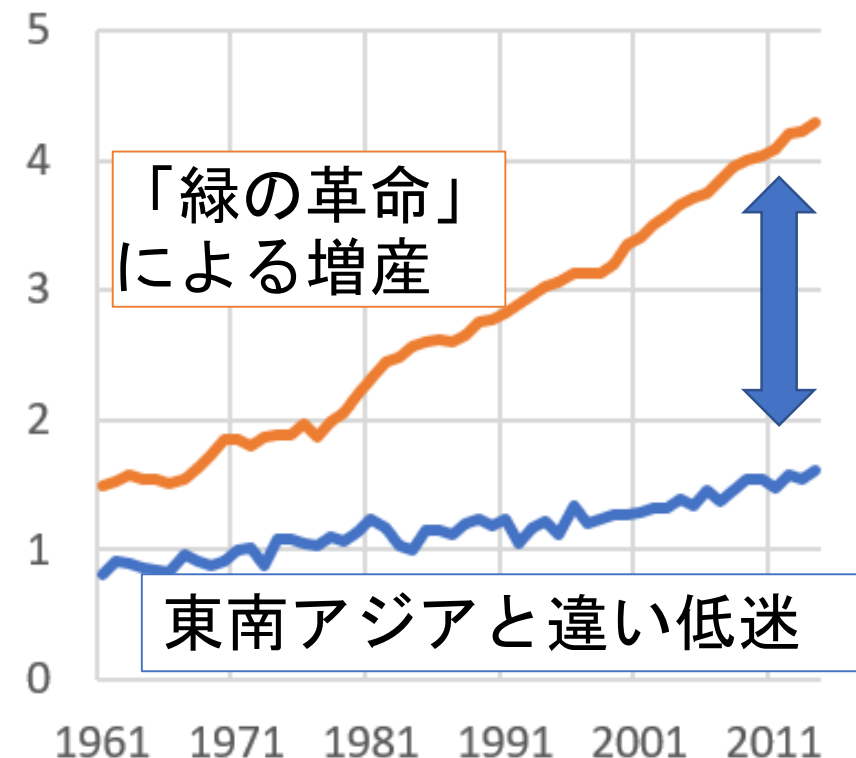
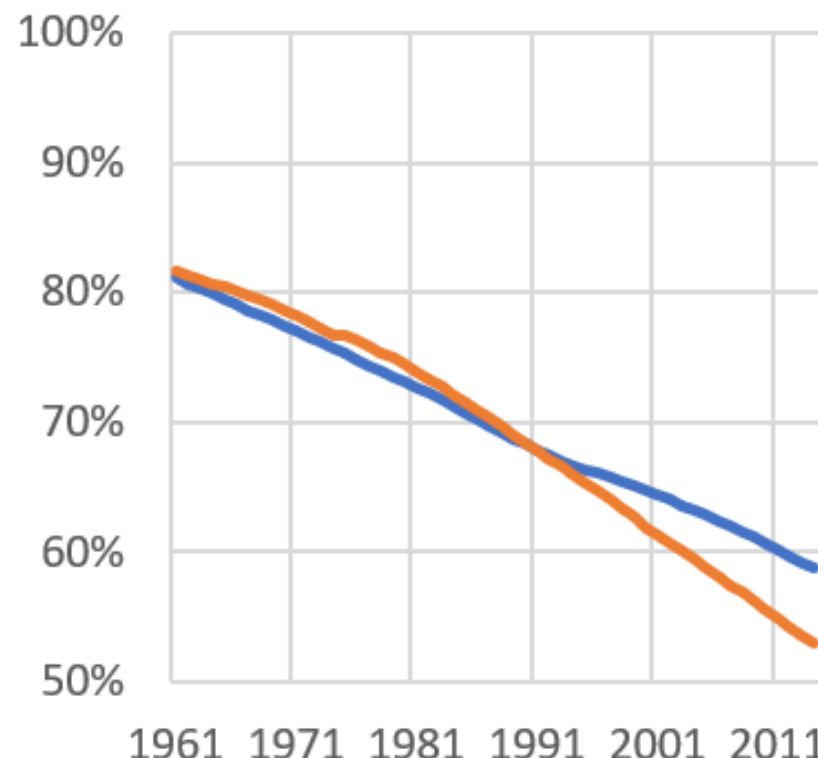
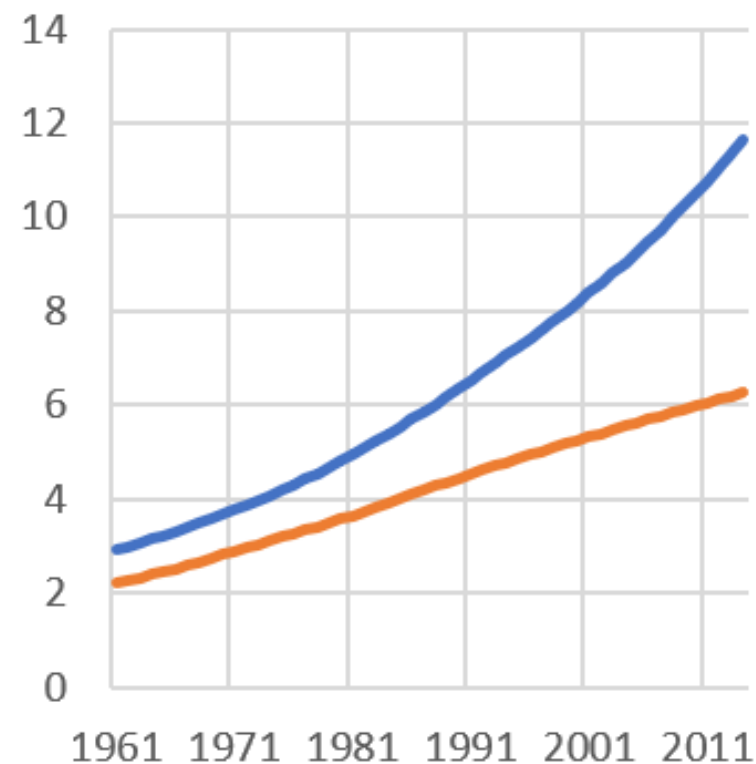
背景：アフリカの食料問題(2/2)

人口増加, 農村人口比率低下, 農業生産性の低迷が理由

人口(億人)

農村人口比率(%)

穀物単収(ton/ha)



— アフリカ — 東南アジア

(出所)FAOSTAT

農業・食料分野における日本の協力

➤ 2008年5月「CARD：アフリカ稲作振興のための共同体」@横浜TICAD4

➤ 日本などのドナー, 国際機関の協議グループが主導

➤ サハラ以南アフリカのコメ生産を10年で倍増する目標に向けた取組 (参加国ケニアなど21カ国)

2014年 目標90%を達成(2,516万トン)

2016年 農民6万人普及員2,500万人に稲作技術普及表明

➤ 2016年2月食品・農業バリューチェーン

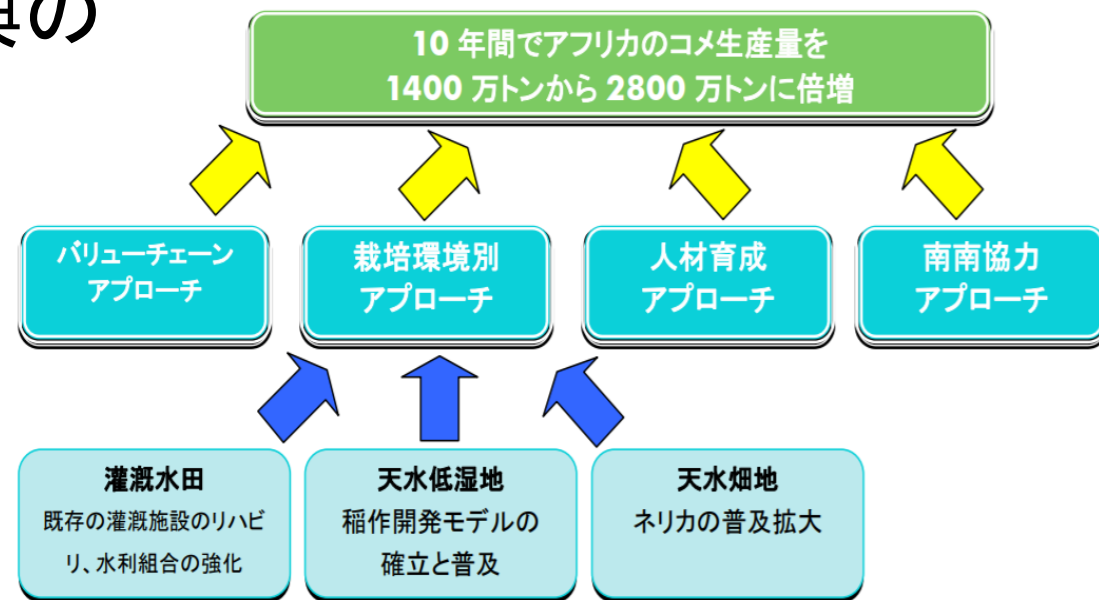
官民ミッション派遣 (農林水産省の取組) @ケニア

➤ 2016年11月アフリカフードバリューチェーン

構築セミナー (農林水産省の取組) @ガーナ

➤ 日本企業が現地の食品加工業者, 流通業者へ研修

➤ 基礎的な品質保持や食品衛生規制、環境配慮関係の能力強化セミナー (鶏肉加工, チョコレート製造等)



(出所)JICA



(出所)農林水産省HP

本日の講演者(ケニア共和国より来日)について

講演者1人目：ワンジョグ氏 (Wanjogu, Raphael Kinyanjui)

“Situation and Challenges of Food Production

Policy in Kenya: Supply, Demand and Import of Rice”

アフリカの食料需要が伸び、とくにコメの生産拡大が重要視されている
→ケニアにおける農業政策、とくに稲作関連政策、コメ増産実態を紹介

講演者2人目：カレイシ氏 (Mwangi, Moses Kareithi)

“Transformation in Mwea Rice Sector”

ケニアの国産米の7~8割を生産する、最大の稲作地域・国家灌漑事業区
「ムエア灌漑事業区 (Mwea Irrigation Scheme)」地域におけるコメ生産・
流通の実態を紹介

ケニアの概要・食料事情概観(2015年)

人口	4,415万人 (アフリカの約4%)		
1人あたりGDP	1,434USドル (アフリカ22位)		
言語	スワヒリ語・英語等		
宗教	キリスト教・イスラム教等		
通貨	ケニアシリング(Kenya Shilling: KSh), 1KSh=約1円		
主な輸出品	紅茶・花卉(アフリカ1位)		
日本援助金額	1億6,200万USドル (アフリカ1位)		
主な食料作物	生産量	食料供給量	一人あたり供給量(2000年からの増加率)
トウモロコシ(メイズ)	359万トン	338万トン	76.2kg/年(-12%)
小麦	94万トン	154万トン	34.7kg/年(33%)
コメ	13万トン	57万トン	12.9kg/年(184%)



コメの供給の急増

